

日本花菖蒲協会 80周年記念祝典について

会長 椎野 昌弘

平成 22 年 6 月 12 日 (土) 午後 4 時 30 分から横浜市中区の中華街の‘菜香新館’で、日本花菖蒲協会 80 周年記念祝典が開催され、各地より 44 名の会員及び家族の皆様が参加しました (右記念写真参照)。

祝典は、福住康文副会長の司会で進行し、まず山脇信正副会長の乾杯で幕をあげました。乾杯酒は参列した鳥取の会員、大谷修子さんが経営される大谷酒造 (株) が祝典にあわせて仕込まれた純米吟醸酒「天空の鷹花菖蒲」でした。そのほのかな香りとまろやかな味わいで参加者一同 80 周年の慶事を心から称えることができました。続いて私、椎野から奇しくも開港 150 周年記念に沸く横浜の地で祝典が行われたことに感慨を述べ、更に協会が 90 周年から 100 周年に向かって、花菖蒲の伝統を持続し発展させるよう、皆で頑張りましょうとご挨拶させていただきました。



5つのテーブルには鎌倉市の大船フラワーセンターで行われていた花菖蒲展示会から持参された花菖蒲が花瓶に活けられ、宴に彩りをそえました。横浜中華街でも名店である‘菜香新館’の美味の中華料理を堪能しながら、遠路地方から参加して下さった方々を中心に近況を語っていただきました。和やかな懇談のうちに、次の予定の横浜港ナイトクルーズ(水上バスツアー)乗船時間が迫ったため、午後6時に閉会しました。

訃報 松本一郎先生逝去される

日本花菖蒲協会会員で古代土器の研究者でもあった松本一郎先生が平成 22 年 11 月 10 日天寿をまっとうされました。先生は、東京花菖蒲協会の副会長として靖国神社の奉納花菖蒲展に永年出展を続けてこられました。先生は、福島県浅川町で 1920 年にお生まれになり、学法石川中学校卒業後上京され、東京青山師範学校 (現東京学芸大学) を卒業されました。在学中に文部省教員検定試験に合格され、東京都の教員に奉職されました。太平洋戦争が勃発し、海軍軍人として応召され戦艦「五十鈴」に乗艦し、フィリピン・ジャワ海戦に参戦中、敵艦の魚雷を受け、五十鈴は沈没し戦友のほとんどが戦死されましたが、先生は九死に一生を得て救助され抑留後、昭和 21 年帰国されました。帰国後、旧東洋大学史学科に入学卒業され、東

京都の教職に復職されました。その後、東京都の派遣留学生として東京文理科大学 (現つくば大学) で古代史 (考古学) を修了され都立高校の教職に就かれました。このころ、先生は、武蔵丘陵で発見した古代土器の破片が気になり、休日返上で、教職の昇進試験も断り、土器の発見・発掘に情熱を注ぎ込み、生涯を通じて 85 点の古代土器を手掘りで発掘され研究されました。平成 22 年 10 月 16 日山脇副会長がご自宅をお訪ねした時もお元気で、来年の靖国神社での花菖蒲展に出品する鉢植えの準備をしておられ、亡き戦友の御霊を慰めるために奉納は続けると張り切っておられたのが思い出されます。松本一郎先生、長い間お疲れ様でした。安らかにお休みください合掌。(金子嘉明 記)